

# 平成30年度 学びの丘 上新田学園 学校評価書

4段階評価	4 とても良い	3 良い	2 少し悪い	1 悪い
-------	---------	------	--------	------

重点目標	評価指標	学校としての取組や反省	保護者	教職員	学校	委員会	学校関係者評価委員の意見	
1 家庭・地域との連携	1	学校は、保護者や地域の声や願いに応える教育を積極的に行っている。	○ 菜の花プロジェクトや農業体験、イートン田んぼ等、保護者や地域の方の声を反映させながら取り組むことができた。	3.31(小) 3.30(中)	3.40	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方はとてもよくしてくださっている。</li> <li>・もう少し家庭での取組が何とかならないのか。全て学校のせい、先生のせい、という考え方はおかしい。特に、今の小学生は忍耐力に欠ける。乗り越える力がなければ、勉強だっただけである。</li> <li>・家庭でももう少し手伝いをすすめてほしい。ゴミを拾ってと頼んでも、『私のじゃない』と言って拾おうともしない子どもを見かける。</li> </ul>	
	2	学校は、各種の便りやホームページ、保護者会等の中で、学校の考え方や取組の様子について分かりやすく伝えている。	○ 小中一貫教育校の1年目として、学校だより「座論梅」やホームページ等で、学校の考え方や教育実践の様子をよりわかりやすく発信する必要があった。	3.39(小) 3.29(中)	3.40			
	3	学校は、参観日や行事等を通して、保護者や地域住民と交流のできる機会を適切に設けている。	○ 土曜授業では「ふれあい活動」を設定し、保護者だけではなく地域の方を招いて、昔の遊びやお茶等の振る舞いを通して交流することができた。	3.55(小) 3.45(中)	3.60	3.5		
	4	学校は、PTA会費や教材費など、家庭から集めたお金について適切に処理し、保護者にもきちんと説明している。	○ 給食費は地区での集金とし、教材費は□座引き落としとしているが、滞りなく納入していただいている。	3.59(小) 3.49(中)	3.76			
	5	教職員（担任等）は、各種の便りや懇談会等を通して、子どもの生活状況や学級の様子を日常的に伝えている。	○ 学級通信は全学級で定期的に取り組むことができた。中学部では生徒指導だより「凡事徹底」も週1回発行し、学校の様子を随時発信できた。	3.49(小) 3.63(中)	3.44	3.6		
	6	教職員（担任等）は、児童生徒のよいところや気になることについて、電話や家庭訪問などで家庭との連絡をきめ細かく行っている。	○ 学級担任はこまめに家庭と連絡を取るように心がけたが、事態が深刻になる前に、状況を伝えるようにしていきたい。自分から進んで連絡することに抵抗を感じている保護者もあるため、担任以外も話ができる体制を整えたい。	3.26(小) 3.19(中)	3.44			3.2
	7	保護者と相談しながら子どもの成長を見守っている。		3.33(小) 3.21(中)	3.48			
2 きめ細かな指導による学力の向上	8	学校は、楽しく分かりやすい授業を実践している。	○ 校内研修会において、全職員が一人一授業を公開し、指導力の向上に努めた。	3.35(小) 3.15(中)	3.24	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の手立ては有効であると考えてるので、このまま継続して力を伸ばしてほしい。</li> </ul>	
	9	一人一人の学力を伸ばすためのきめ細かな指導を適切に行っている。	○ 小学部で放課後の補充学習を週2回始めたことは、大きな前進である。	3.32(小) 3.06(中)	3.16			
	10	教職員は、子どもの個性をよく把握して、適切な評価や声かけをしている。	○ 学力向上については、学校と家庭との連携が特に必要になるため、家庭学習の重要性については、2月の参観日に小学部保護者を対象に説明会を実施する予定である。	3.31(小) 3.06(中)	3.16			
	11	家庭学習としての課題については、適切に与えている。		3.39(小) 3.20(中)	3.21			
	12	課題解決の手段として、また読書活動の一環として本に親しませている。	○ 図書室については、各教科の課題解決の手段として積極的な活用をしているが年齢が上がるにつれて読書離れはすすんでいる。	3.39(小) 3.12(中)	3.17			3.4

	重点目標		評価指標	学校としての取組や反省	保護者	教職員	学校	委員会	学校関係者評価委員の意見
3	児童生徒に自信をもたせる取組の推進	13	教職員は、一人一人を大切にした学級経営・いじめのない集団づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間を通してステージごとに人権集会を開き、人権担当教員による講話を通して他を思いやる気持ちや言葉の使い方を学ぶ機会となった。</li> <li>○ 小中合同での初めての文化祭では、小中学部全学年がステージ発表を行うことができた。</li> <li>○ 自分の意見を堂々と発言できる児童生徒の育成に課題が残る。</li> </ul>	3.23(小) 3.23(中)	3.25	3.1	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時に小学生（男女）がうずくまっている一人の子どもに大声で何かを言っている場面を3～4回見かけた。いじめてるように見えた。学校でも注意して見てほしい。</li> <li>・小さい頃から同じメンバーなので、人間関係が固定化している。リーダー研修会などで、子どもが子どもを指導する機会をたくさん与えると効果があるのではないかと。</li> </ul>
		14	児童同士、生徒同士が互いに認め合うコミュニケーションづくりに取り組んでいる。		3.26(小) 3.22(中)	3.08			
		15	子どもに自信をつけさせるために、授業や行事等で、児童生徒が発表したり活躍したりする場を十分に与えている。		3.38(小) 3.34(中)	3.08			
4	小・中学部間の連携	16	小・中学部間の連携を図る授業や取組を適切に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中一貫教育校のよさを活かして乗り入れ授業を行った。小学部高学年では、教科担任制に近い形で授業を行うことで中1ギャップ対策にもなった。</li> <li>○ BCステージの学習図書委員会の児童生徒を中心とした呼びかけや現状の発表を通して、目前の課題を明確にした。</li> <li>○ 小学部（2・5・6年）の教育相談では、中学部の教員も面談に加わり適切な支援を行った。</li> <li>○ 小学部4年での「いのちの教育」、全校での「弁当の日」等、年間を通して考える機会を設けている。</li> <li>○ 発達段階に応じて担任による性教育の授業や「か母ちゃっ子クラブ」「ピアサポート」の授業を計画・実践した。</li> </ul>	3.46(小) 3.31(中)	3.24	3.1	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たぶの木住宅周辺で、通学路ではないところを下校している小学生を見かけたことがある。危険なので心配である。</li> <li>・不審者情報が入ったあたりから、自分の命を守るためにと、カッターナイフを持っている小学生がいる。保護者も認めているようだ。学校で指導してもらいたい。</li> </ul>
		17	立腰や語先後礼のあいさつの仕方等、礼儀や姿勢を意識した学習環境づくりを適切に行っている。		3.45(小) 3.16(中)	3.00			
		18	思いやりの心やルールを守る態度、協調性など心を育てる授業や教育活動が適切に行われている。		3.36(小) 3.21(中)	3.04			
		19	生命や安全、健康について学ばせる授業や教育活動が適切に行われている。		3.37(小) 3.23(中)	3.08			
		20	性教育や情報教育、人権教育など、今日的な課題についての教育も適切に行われている。		3.32(小) 3.18(中)	3.28			
5	上新田スタンダードの推進	21	自他を高める学習5原則（1分前着席、大きな声で始めと終わりの挨拶、忘れ物ゼロ、授業に集中、きちんと家庭学習）についての取組を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状に対する重点目標を全学年で取り組むため、各教室の黒板に共通の目標を掲げ、一斉に取り組むことができた。</li> <li>○ 小中合同のサマースクールを実施することができた。</li> <li>○ 月ごとの凡事徹底を掲げ、清掃、1分前着席は成果が見られたが、元気のよいあいさつは十分ではない状況にある。</li> <li>○ 校長講話や朝の会・帰りの会等、教育活動全体を通して、夢を抱き夢を語る児童生徒の育成に努めた。</li> </ul>	3.33(小) 3.26(中)	3.00	3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の小学生や中学生のあいさつがとてもよい。横断歩道を渡る時に車に向かって一礼をしたり、自分の言葉でしっかりと挨拶ができたりする子どもたちがいる。見習う点が多い。</li> </ul>
		22	自他を大切にする生活3原則（温かい学校、美しい学校、元気よい学校）について取組を行っている。		3.40(小) 3.36(中)	2.92			
		23	ふるさとを大切に思い、子どもたちの夢を育む教育に取り組んでいる。（キャリア教育）		3.39(小) 3.36(中)	3.20			

次年度の方向性についての校長所見

- 1 家庭・地域との信頼関係を維持するため、積極的な情報発信と共通理解に努め「地域に開かれた学校づくり」を目指したい。
- 2 小中一貫教育校の2年目として、小学校での一部教科担任制の拡充の推進と特別支援教育と生徒指導の充実に向けて、より一層小中の連携を深めたい。
- 3 安心して学校生活をおくることのできる環境を整えるとともに、自己有用感を持たせる機会を意図的・計画的に作りたい。